

千年先を見据えた暮らしのひな型創りに向けて 2023年5月にビジョンを公開

祈り・まつり・芸術を中心とした暮らしの輪

安曇野 縄文ビレッジ

いにしえから

人と人

人と大地

人と神々の

あわいには

祈り・まつり・芸術

がありました。

私たちは

地域のお祭りや

伝統行事を大切に

大きな家族で

土地を守る暮らしを

築いてゆきます。



たくさんのご支援と神はからいに支えられ、道をひらいてきました

安曇野縄文ビレッジのあゆみ

- 2018年11月 安曇野と上高地でむらづくりのビジョンを受け取る
- 2023年4月 大阪「みつはの里」を訪問し本格始動
- 5月 ビジョン公開 / Zoom 発表会に 100名近く参加 / 畑とのご縁
- 6月 移住応援クラファンで 100名 120万円のご支援
- 7月 安曇野へ移住し「畑の結」スタート
- 8月 虹の麓で拠点となる古家と出会う
- 9月 畑で初のまつりを開催
- 10月 空き家を預かり「六花の庵」としてひらく
- 11月 キッズデーをスタート
- 12月 現実創造合宿をスタート
- 2024年1月 地域の自治会に入会 / 水田とのご縁



近隣、全国・海外から仲間が集まっていただき、場づくりが進んでいます



魂でつながる大きな家族で、水源の里を守る暮らしを築きます

安曇野縄文ビレッジの活動拠点

穂高牧の田畑

2.5 反の畑をお借りし、「畑の結」としてみんなで土に触れる活動をしています。

自給自足を目指しつつも、収穫はおこぼれとして、集いそのものによるこびを見出す姿勢を大切に、水を汚さない地球が元気になる農法を心がけています。

ご来光を拝み、祝詞を上げ、山、土地、ご先祖さまにごあいさつ。天地とともにうたい、舞い、毎日がおまつりです。

2024 年からお米づくりもはじまります。



六花の庵&リトルアースガーデン

畑で祝詞を上げた初日に虹があらわれ、虹の麓で出会った空き家を預かることになりました。

みんなでみんなの子をみたり、手仕事しながら想いを分かち合ったりする場といたく、「六花の庵」と名付けた古家と、林のある 250 坪のお庭を暮らしながら整えています。

2024 年は生活排水で川と池を作り、生物多様性と水の浄化を叶えるビオトープを整備し、「美しい地球の縮図」のような場所を目指します。



安曇野縄文ビレッジ発起人

はるちゃん / 内田 晴香 @haruka.lifeart



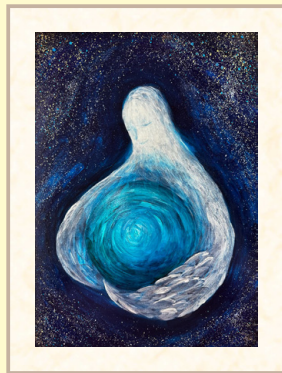
1988年三重県生まれ。名古屋市立大学芸術工学部都市環境デザイン学科卒業。

2023年7月に神奈川県から長野県安曇野市へ移住し、穂高牧エリアの2.5反の畑で「畑の結」をスタート。山の麓の空き家「六花の庵」を魂でつながる大きな家族の集いの場とすべく、古家とお庭を暮らしながら整えています。

安曇野の愛いっぱいの水が世界中に染み渡ることを願って、日々水の神さまにお祈りし、絵を描き、唄い舞っています。

✉ info@haruka-lifeart.com

祈りのアート



『地母神』
2023年制作

地球まるごと縄文ビレッジ



全国のむらづくり仲間を応援しています

ひふみ神楽



ひふみ祝詞に型をつけて
分かち合います

インスタ & FB で発信中！各種リンクはこちら

